

# LESSON 36

ご提示いただいた資料「食品業界 市場環境調査メモ（第2稿ドラフト）」の要点を整理しました。この資料は、コンサルティング会社のアナリストが社内レビューに向けて作成した、食品業界の市場環境に関する現状の分析と課題の洗い出しメモです。

以下に主要なポイントをまとめます。

## 1. コスト・サプライチェーン環境

- ・ コスト高騰: 円安による輸入原材料（小麦、大豆など）の高止まりや物流コストの高騰により、食品メーカーの利益率が圧迫されています。
- ・ 物価上昇: 2023年の食品消費者物価指数は前年比+4.7%となり、多くの品目で値上げが行われています。
- ・ 食料安全保障: 「食料安全保障強化法（仮称）」による国内生産後押しの動きは、国内メーカーにとって追い風となる可能性がある一方、調達コスト上昇のリスクも孕んでいます。

## 2. 消費者動向と人口動態

- ・ 消費の二極化: 実質賃金の低下から生活防衛意識が高まり、PB商品やディスカウント店への流入（節約層）が起きている一方で、健康志向の高い「こだわり層」も存在し、消費が二極化しています。
- ・ 人口動態の変化: 少子高齢化により国内市場は長期的に縮小見込みです。また、単身・小世帯化や共働きの増加により、時短・簡便ニーズや少量パックの需要が拡大しています。

## 3. テクノロジーの動向

- ・ 省人化と効率化: 人手不足への対応として製造ラインのロボット導入や、AIによる需要予測・在庫最適化が進んでいます。
- ・ 販売チャネル: コールドチェーンの高度化などにより生鮮食品ECなどが拡大しています。

- ・代替タンパク: 大豆ミートや昆虫食、培養肉などの代替タンパクは、クライアントの商品ポートフォリオ次第で「機会」にも「既存商品との競合（脅威）」にもなり得ると分析されています。

#### 4. 法規制・政策の動き

- ・表示と安全基準: 機能性表示食品の制度見直しやアレルギー表示の義務強化、HACCPの監査強化などへの対応コストが見込まれます。
- ・環境対応: プラスチック削減義務化や容器包装リサイクル法の強化により、包材コストへの影響が懸念されます。

#### 5. インパクト評価と今後の課題

作成者は現時点で、トレンドのインパクトを以下のように整理・評価しています。

- ・短期・高インパクト: コスト高騰、PB商品との競争。
- ・長期・高インパクト: 少子高齢化（確実）、代替タンパクの普及（不確実性が高い）。

今後のタスク（未決事項）：

- ・PB商品の売上データや市場規模など、出典が不明確なデータの裏付け確認。
- ・代替タンパクや食料安全保障を「機会・脅威」「技術・消費者ニーズ」のどの文脈で整理するかとの社内すり合わせ。
- ・一般的な市場動向を、クライアント固有の商品ポートフォリオや強みと結びつけ、具体的な戦略示唆へと落とし込むこと。

---

このメモをベースにして、さらに学習しやすいようにフラッシュカードを作成したり、特定のテーマに絞ったテラードレポートを作成することも可能ですが、いかがでしょうか？